



一九四二年生まれ。群馬県出身。前橋商業高校卒業後、演劇界に入り役者修業を経て、一九七〇年講談界に転じ二代目神田山陽に入門。前座名陽之介。一九七三年二ツ目に昇進して小山陽と改名。一九七七年小山陽のまま真打に昇進。一九九二年三代目神田松鯉を襲名して現在に至る。若いころから講談のバックボーンと言われる長編連続講談の復活・継承に積極的に取り組み、現在は日常の寄席出演はもとより、古典講談の保存と後進の育成につとめている。

#### 「主な読み物」

徳川天一坊・幡随院長兵衛・柳澤昇進録・天明白浪伝・祐天吉松・畔倉重四郎・村井長庵・慶安太平記・水戸黄門記・旗本五人男・天保六花撰・赤穂義士伝・寛永宮本武蔵伝・三方ヶ原合戦記等の長編連続講談をはじめとして、一席物の講談多数。

#### 「受賞」

- 一九七七年 第一回講談奨励賞
- 一九七七年 第六回放送演芸大賞ホープ賞
- 一九八八年 第四十三回文化庁芸術祭賞
- 二〇二〇年 板橋区名誉区民賞

#### 「認定」

- 二〇一九年 重要無形文化財保持者（人間国宝）認定
- 二〇二一年 板橋区登録無形文化財認定

#### 「叙勲」

- 二〇二一年 旭日小綬章

#### 「所属」

- 日本講談協会（名誉会長）
- 公益社団法人落語芸術協会（参与）

#### 「寄席」

新宿末廣亭・浅草演芸ホール・池袋演芸場・上野広小路亭・国立演芸場・横浜にぎわい座等に出演。他全国の地域寄席・ホール寄席にも出演。

#### 「放送」

NHK 講談大会・NHK 日本のお話芸・NHK ラジオ深夜便等に定期的出演。

#### 「出版」

- 善悪リーダー心得帖（経営書院）
- 人生を豊かにしたい人のための講談（マイナビ新書）



1983年(昭和58年)5月18日、十八代目中村勘三郎の次男として生まれる。1986年(昭和61年)9月、歌舞伎座『檻(おり)』の祭りの子勘吉で初お目見得。'87年二代目中村七之助を名乗り、兄の勘九郎(当時勘太郎)とともに『門出二人桃太郎』にて弟の桃太郎役で初舞台。立役(男役)も女方もつとめた時期を経て、近年は女方の大役に次々と挑戦。『仮名手本忠臣蔵』のおかる、『新版歌祭文』のお光、『祇園祭礼信仰記』の雪姫、『助六曲輪初花桜』の揚巻、舞踊『鷺娘』『鏡獅子』、コクーン歌舞伎『桜姫』の桜姫、同『三人吉三』のお嬢吉三など、いずれも高い評価を得ており次代の歌舞伎界を担う存在。

また歌舞伎以外の作品としては、エドワード・ズウィック監督のハリウッド映画『ラストサムライ』(2003)の明治天皇役、宮藤官九郎監督『真夜中の弥次さん喜多さん』(2005)の喜多八役、現代劇ではデヴィット・ルヴォー演出『ETERNAL CHIKAMATSU』の小春役などを演じる。

TVドラマにおいても大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺(ばなし)～』の三遊亭圓生役やNHKBSプレミアムドラマ『ライジング若冲～天才かく覚醒せり～』では伊藤若冲/栴屋源左衛門役にてドラマ初主演を飾るなど映像出演でも強い印象を残している。

#### 「受賞」

2013年(平成25年) 読売演劇大賞 杉村春子賞

2015年(平成27年) 松尾芸能賞 新人賞

2015年(平成27年) 第1回 森光子の奨励賞



女流落語の歴史を変える？とも噂される、若手噺家のホープ。

春風亭小朝に弟子入り後、二ツ目に昇進するや、翌 2012 年の「NHK新人演芸大賞(現 新人落語大賞)」でいきなり決勝に進出し、注目を集める。

その後も、10 日間連続独演会、全国ツアー、海外公演など若手としては異例づくしの落語活動を展開。2016 年、2020 年にも「NHK新人落語大賞」で決勝に進出し話題となる。

さらに「笑点」若手大喜利・女流大喜利をはじめとするテレビ出演や、女優として明治座「ふるあめりかに袖はぬらさじ」（主演・大地真央）などの舞台出演、沖縄国際映画祭出品作品「耳かきランデブー」主演、「大人AKBオーディション」でも最終選考に進出する～などマルチに活躍。

自身初のメインパーソナリティとなるラジオ番組「SHIBA-HAMA ラジオ」（文化放送）以来、「はまきんっサタデー」（文化放送）、「ゆうとぴか」（静岡エフエム K-mix）などラジオ番組のレギュラー出演も多数。

2022 年 3 月、待望の真打昇進と、これを機に高座名を「蝶花楼桃花（ちょうかろう・ももか）」に改めることが決定。

七代目・蝶花楼馬楽の没後途絶えていた、歴史ある亭号の復活となる。

上手い、可愛い、華がある～と、三拍子そろった「寄席のプリンセス」。

落語協会／東宝芸能所属

オフィシャルウェブサイト「ぴっかり☆倶楽部」 <http://pikkari.club/>